

# 千呂露-Tirolo-

## はじめに

今年度も、進路指導部は生徒の就職・進学の情報提供や啓発の場として、進路だより「千呂露-Tirolo-」を発行します。3年生はもちろん、2年生や1年生も言わばもうすでに自分の進路を考える立場にあります。3年生になってから、進路を考えるのでは遅いですし、年を越して3月になっても決まらないなんてこともあり得ます。みなさんが卒業後どういう進路を選ぶかを、助けられる通信になったらいいなと思っています。。

## 進路指導部メンバー紹介

進路指導部長 西村 元志 (英語科 3学年副担任)

進路決定において大事なことは「悩むこと」だと、前進路指導部長が事あるごとに言っていました。では、悩むためにはどうしたらいいのでしょうか。例えばコンビニに行くのに皆さんは悩む必要がありません。セコマ一択です。でも、もしセブンイレブンやローソン、ファミリーマート、ミニストップもあったとしたら、悩むこともあるでしょう。

つまり悩むには材料が必要です。考えられる選択肢が必要です。1年生はそれをどんどん増やしてください。2年生は増やしてから絞ってください。3年生は絞ってそこに突き進んでください。



進路指導部員 米内山 大輝 (理科 1学年学年付き)

初めまして。4月から理科教員として日高高等学校に赴任した米内山大輝です。理科の用語に「ホメオスタシス」という言葉があります。この言葉は、気温が上がったり、下がったりしても体温は36度と一定であるように生物の体の変化を嫌うような仕組みを持っている事を意味しています。心にも似たような仕組みがあり、新しいことに挑戦しようとしても継続ができず、三日坊主で終わってしまうのは心が変化を嫌っているためなのです。今まで勉強をしていない人が急に勉強を初めても続かないことはある意味当然のことなのです。しかし、この仕組みに逆らい、毎日5分でも勉強をすると心の抵抗が徐々に減り、継続できるようになります。なかなか継続できない人は「心のホメオスタシス」を意識して、毎日少しでもいいのでとりあえずやってみることを意識してみましよう。継続は力なり!!



## 「進路連絡板」 要チェックです

進路室（4年生教室）前には「進路連絡板」があります。3年間の予定を記した「進路シラバス」や「本日の新聞」、オープンキャンパス等の情報を随時掲示していきます。



## 何を入れるかは あなた次第「進路BOX」

自分に必要な進路資料（パンフレットなど）を、進路室で見つけたらどんどん入れていきましょう。先生もどんどん入れていきます。進路ファイルに挟んで進路決定のための“武器”としよう。



### 年度始めの、進路指導部長からの4つお願い

#### ①授業の時間を大切にしよう

高校生の仕事は授業に取り組むことです。今すぐに賃金はもらえない代わりに、将来進学・就職して賃金がもらえます。授業をおろそかにする人は仕事をちゃんとやらない人なので、将来の賃金が減ります（又はもらえません）。

#### ②今年度の皆勤・精勤をなるべく目指す

欠席・遅刻はマイナス要素でしかありません。もちろん無理は禁物ですが、耐える力を付けることも大切です。休まない人は、大事にされます。

#### ③言葉遣い・授業態度等のマナーを守ろう

ふだんの様子面接試験時に、そして将来の社会生活で出てしまいます。“社会人”としてのマナーを、今のうちから少しずつ身につけましょう。

#### ④自分から進路相談をしていこう

進路に関する悩みや相談があれば、気軽に声を掛けてください。

## 4月の進路行事

- 15日(水) 適性検査(1, 2年) ※制服登校
- 16・17日(木・金) 1学年学力診断テスト・2年学力テスト
- 20日(月) 個人面談週間(～24日) ※制服登校
- 24日(金) 模擬面接事前指導(3年生)

担任の先生に今の考えを伝えよう